

第19回広島市立広島特別支援学校高等部卒業証書授与式
校長式辞

「この世で一番輝くものは あなたがくれるその笑顔 この世で一番すてきなものは
仲間を思うその心 伝えていこうその笑顔 伝えていこうその心 みんなが集まるこの場
所 この場所でこの場所で みんなが語るこの場所 この場所で・・・」

この曲は、広島市にお住まいのヴィオラ奏者の沖田孝司さんが作曲された「伝えよう笑
顔と心」です。この一年間、卒業生の皆さんが大切に歌い続けてきた曲です。

この曲の歌詞のように、皆さんの笑顔はとても輝いていました。仲間を思う皆さんの心
は、とてもすてきでした。高等部第3学年48名の生徒の皆さん、本校を卒業しなければ
ならない日がとうとうやってきました。寂しいです。しかし、皆さんにとって今日はとて
も大切な日です。本校の高等部の全課程を学び終えて、新しい道を歩んで行く区切りの日
です。いよいよ社会に飛び立つ日なのです。本校高等部第19回卒業生の皆さん、御卒業
おめでとうございます。ほんとうにおめでとうございます。

晴れの卒業の日、皆さんとのたくさんの思い出のページがありますが、3ページだけ開
いてみることにします。

1ページ目です。高等部第1学年の時のことです。本校では、初めて市内のホテルを使
って1泊2日の宿泊研修を行いました。あいさつやマナー、ルールを学校で勉強し宿泊研
修に臨みました。皆さんが研修しているところに行ってみると、とてもいい笑顔でボラン
ティア活動をしていました。皆さんの活躍に事業所の方からたくさん褒めていただきました。

2ページ目、高等部第2学年の時の体育祭での学年種目です。「よさこいソーラン」の
踊りを覚えるのはとても難しいことですが、皆さんは、みんなで教えあっていました。み
んなが一つになるんだ。仲間を大切に、見事な踊りが完成しました。そのときの感動は
忘れられません。

3ページ目、高等部第3学年の「文化祭」です。みんなで力を合わせて歌ったステージ
発表。仲間と共に頑張る姿に涙が止まりませんでした。大勢のお客様を迎えた喫茶店。笑
顔での接客がとても気持ちよかったです。

まだまだたくさんの思い出があります。この3年間の勉強で、心も体もたくましく成長
されました。どうか、本校で学んだことを誇りに思い、自信を持って社会に飛び立って
ください。皆さんが高等部2年生の2学期、ここ出島の地に移転・開校しました。皆さんが
1年と半年過ごした大手町の旧校舎は、大手町商業高等学校の生徒の皆さんが大切に使っ
ています。正門にそびえていた楠木は、とても元気です。今も私たちのことを見守って
くれています。「明るく 元気に たくましく」、これからも歩いてください。

保護者の皆様、教職員を代表して、お子様の御卒業を心からお祝い申し上げます。皆様
の深い愛情に包まれて、今日のよき日を迎えることができました。子どもたちを支えて
くださった御労苦に対しまして、心より敬意を表すると同時に、これからの益々の御発展を
祈念しております。

終わりにになりましたが、広島市教育委員会委員 溝部ちづ子様をはじめ御臨席を賜り
ました皆様に、厚く御礼申し上げます。どうぞ今後とも生徒たちを温かくお導きくださ
いますようお願い申し上げます。

卒業生の皆さん、先生方、そして広島特別支援学校は、皆さんのことをいつまでも応援
することを約束し式辞とします。私の自慢の生徒たちへ。

平成26年3月11日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行